

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【臨床病理診断科】

指標名

生検組織の病理診断に要する日数

目標：ゴール

生検組織の病理診断に要する日数を短縮し、迅速かつ質の高い病理診断を提供する。

目標：ゴール達成による効果

病理診断結果をより早期に臨床へ提供することで、治療方針決定の迅速化や患者サービスの向上に寄与するとともに、診療科との円滑な連携および病理診断業務の効率化につながる。

目標：ゴールに対する成果の状況

2025年度は、生検組織の病理診断所要日数について継続的にモニタリングを行い、業務工程の見直しや診断・報告体制の効率化に取り組んだ。その結果、平均病理診断日数は7.63日となり、前年度7.75日と比較して1.55%短縮した。
診断精度を維持しながら迅速報告に努めたことで、診療科への情報提供の迅速化に寄与し、患者診療への貢献が図られた。

目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☒ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

迅速な病理診断を維持するため、症例受付から標本作製、診断、報告までの各工程について継続的な業務改善を行う。また、症例数や検査内容の変動に応じた業務配分の最適化を図り、診断精度を維持しつつ、さらなる報告日数の短縮を目指す。